

## 7 経営成績について（税抜き）

当年度の経営成績は、次のとおりである。

### (1) 水道事業会計の損益の状況

（単位：円）

科 目		水道事業 (A)	鶴形簡易水道事業 (B)	合計（水道事業会計） (A) + (B)
営業 収益	給 水 収 益	734,906,550	6,932,402	741,838,952
	その他の営業収益	38,497,256	5,000	38,502,256
	計	773,403,806	6,937,402	780,341,208
営 業 費 用	原水及び浄水費	132,080,354	1,080,000	133,160,354
	配水及び給水費	48,389,042	1,277,610	49,666,652
	業 務 費	90,656,824	502,241	91,159,065
	総 係 費	15,852,165	4,500	15,856,665
	減 価 償 却 費	297,526,958	2,743,920	300,270,878
	資 産 減 耗 費	4,132,283	0	4,132,283
	計	588,637,626	5,608,271	594,245,897
営 業 損 益		184,766,180	1,329,131	186,095,311
営業外 収益	受 取 利 息	10,821	0	10,821
	他 会 計 補 助 金	18,901,871	1,066,340	19,968,211
	雑 収 益	536,101	0	536,101
	計	19,448,793	1,066,340	20,515,133
営業外 費用	支 払 利 息	163,393,992	1,938,800	165,332,792
	雑 支 出	1,464,483	680	1,465,163
	計	164,858,475	1,939,480	166,797,955
営 業 外 損 益		-145,409,682	-873,140	-146,282,822
経 常 損 益		39,356,498	455,991	39,812,489
特 別 損 益		-39,630	0	-39,630
純 利 益		39,316,868	455,991	39,772,859

水道事業会計の当年度純利益は、水道事業が39,316,868円、鶴形簡易水道事業が455,991円で合計で39,772,859円となっている。

また、水道事業会計の純利益の推移は次表のとおりである。

（単位：円）

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
純 利 益	22,176,888	27,295,329	8,043,891	27,727,703	39,772,859
前年度比較	-6,514,955	5,118,441	-19,251,438	19,683,812	12,045,156
増減率（％）	-22.7	23.1	-70.5	244.7	43.4

※平成18年度から鶴形簡易水道事業分を含む。

当年度の純利益は、前年度に比較して大幅に増加した。これは、給水収益が増となったこと及び支払利息が減となったことが、主な要因となっている。

## (2) 水道事業の損益の状況

(単位：円、%)

科 目		2 2 年度 (A)	2 1 年度 (B)	比 較 増 減 (A) - (B)	増 減 率 $\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$
営業収益	給 水 収 益	734,906,550	724,866,572	10,039,978	1.4
	その他の営業収益	38,497,256	38,419,091	78,165	0.2
	計	773,403,806	763,285,663	10,118,143	1.3
営業費用	原水及び浄水費	132,080,354	135,216,358	-3,136,004	-2.3
	配水及び給水費	48,389,042	50,278,057	-1,889,015	-3.8
	業 務 費	90,656,824	90,369,093	287,731	0.3
	総 係 費	15,852,165	15,880,907	-28,742	-0.2
	減価償却費	297,526,958	290,933,243	6,593,715	2.3
	資産減耗費	4,132,283	366,194	3,766,089	1,028.4
	計	588,637,626	583,043,852	5,593,774	1.0
営 業 損 益		184,766,180	180,241,811	4,524,369	2.5
営業外収益	受 取 利 息	10,821	10,955	-134	-1.2
	他会計補助金	18,901,871	20,601,869	-1,699,998	-8.3
	雑 収 益	536,101	744,493	-208,392	-28.0
	計	19,448,793	21,357,317	-1,908,524	-8.9
営業外費用	支 払 利 息	163,393,992	172,710,459	-9,316,467	-5.4
	雑 支 出	1,464,483	1,515,573	-51,090	-3.4
	計	164,858,475	174,226,032	-9,367,557	-5.4
営 業 外 損 益		-145,409,682	-152,868,715	7,459,033	4.9
経 常 損 益		39,356,498	27,373,096	11,983,402	43.8
特 別 損 益		-39,630	-2,915	-36,715	-1,259.5
純 利 益		39,316,868	27,370,181	11,946,687	43.6

水道事業の営業損益は184,766,180円の利益で、前年度に比較して4,524,369円(2.5%)の増となっている。これは、給水収益の増のほか、修繕費の減が主な要因である。

営業外損益は145,409,682円の損失で、支払利息の減により、前年度に比較して7,459,033円(4.9%)損失額が減少している。

この結果、特別損失39,630円を差し引くと、当年度純利益は39,316,868円となり、前年度に比較して、11,946,687円(43.6%)の増となっている。

### ①営業収益

給水収益の決算額は734,906,550円で、前年度に比較して10,039,978円(1.4%)の増である。これは、有収水量が61,111m<sup>3</sup>(1.4%)増加したことによるものである。

その他の営業収益の決算額は38,497,256円で、前年度に比較して78,165円(0.2%)の増となっている。

給水収益の年度別推移は、次表のとおりである。

(単位：円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
給水収益	740,712,294	744,948,634	719,656,745	724,866,572	734,906,550
前年度比較	-9,780,023	4,236,340	-25,291,889	5,209,827	10,039,978
増減率(%)	-1.3	0.6	-3.4	0.7	1.4

## ②営業費用

営業費用の決算額は588,637,626円で、前年度に比較して5,593,774円(1.0%)の増となっている。営業費用の主な内容は、人件費(給料・手当・法定福利費)35,089,303円のほか、修繕費28,060,460円、委託料210,166,178円、減価償却費297,526,958円などである。

前年度からの増減の大きかったものは、浄水場運転管理費及び各ポンプ場等維持管理等の委託料が3,332,085円の増、減価償却費が6,593,715円の増、修繕費が9,808,311円の減である。

## ③営業外収益

営業外収益の決算額は19,448,793円で、前年度に比較して1,908,524円(8.9%)の減となっている。この内容は、一般会計からの補助金18,901,871円と雑収入である。

一般会計からの補助金の内訳は、次表のとおりである。

(単位：円)

項 目	金 額	
第二期拡張事業に係る消火施設相当分	17,619,000	
山瀬ダム建設負担金に係る利子相当分	昭和58年度	45,297
	昭和59年度	45,241
	昭和60年度	45,054
	昭和61年度	40,291
	昭和62年度	95,408
	昭和63年度	740,658
	平成元年度	270,922
	小 計	1,282,871
合 計	18,901,871	

これらの補助金は、それぞれ項目ごとに一般会計と協定が結ばれ、20～30年間で一定金額を繰り入れする内容となっており、原則として法令や国の通達で定める基準により繰り入れられるものである。

④営業外費用

営業外費用の決算額は164,858,475円で、前年度に比較して9,367,557円（5.4%）の減となっている。この主な内容は、支払利息であり、前年度まで繰上償還を行ったことにより償還額が軽減されている。当年度の金額は163,393,992円と、営業損益の黒字184,766,180円の88.4%に相当する額となっている。

⑤特別損失

特別損失は、過年度損益修正損の39,630円で、過年度分の過誤納水道料金に対する還付金である。前年度に比較して36,715円（1,259.5%）損失額が増加している。

## (3) 鶴形簡易水道事業の損益の状況

(単位：円、%)

科 目		22年度 (A)	21年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増減率
					$\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$
営業収益	給水収益	6,932,402	6,829,523	102,879	1.5
	その他の営業収益	5,000	15,000	-10,000	-66.7
	計	6,937,402	6,844,523	92,879	1.4
営業費用	原水及び浄水費	1,080,000	1,100,000	-20,000	-1.8
	配水及び給水費	1,277,610	1,295,039	-17,429	-1.3
	業務費	502,241	514,583	-12,342	-2.4
	総係費	4,500	4,880	-380	-7.8
	減価償却費	2,743,920	2,700,855	43,065	1.6
	資産減耗費	0	0	-	-
	計	5,608,271	5,615,357	-7,086	-0.1
営業損益		1,329,131	1,229,166	99,965	8.1
営業外収益	受取利息	0	0	-	-
	他会計補助金	1,066,340	1,066,340	0	-
	雑収益	0	1,450	-1,450	皆減
	消費税還付金	0	0	-	-
	計	1,066,340	1,067,790	-1,450	-0.1
営業外費用	支払利息	1,938,800	1,938,800	0	-
	雑支出	680	634	46	7.3
	計	1,939,480	1,939,434	46	0.0
営業外損益		-873,140	-871,644	-1,496	-0.2
経常損益		455,991	357,522	98,469	27.5
特別損益		0	0	-	-
純利益		455,991	357,522	98,469	27.5

鶴形簡易水道事業の営業損益は1,329,131円の利益で、前年度に比較して99,965円(8.1%)の増となっている。営業外損益は873,140円の損失で、前年度に比較して1,496円(0.2%)損失額が増加している。

この結果、当年度純利益は455,991円で、前年度に比較して98,469円(27.5%)の増となっている。これは、給水収益の増が主な要因である。

#### (4) 損益関係指標

水道事業会計における損益関係指標の年度別推移は、次表のとおりである。

(単位：%)

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	21年度 全国平均
営業収支比率	131.7	134.0	129.7	130.8	131.3	111.0
経常収支比率	102.8	103.7	101.0	103.6	105.2	107.1

##### ◇営業収支比率

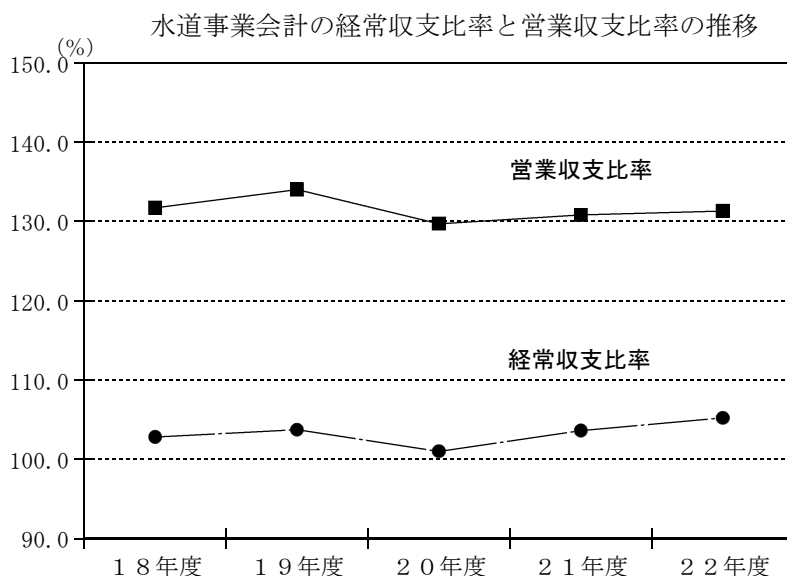
営業収支比率は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すもので、100%で収支均衡となるが、100%を大幅に超える必要があるとされている。

##### ◇経常収支比率

経常収支比率は、経常費用(営業費用+営業外費用)が経常収益(営業収益+営業外収益)によってどの程度賄われているかを示すもので、100%以上であるときは経常利益が発生していることを示す。また、営業収支比率との差が大きいほど、営業外費用の支払利息の占める割合が大きいことを示し、財政構造が硬直化していることを表している。

平成22年度の営業収支比率は131.3%、経常収支比率は105.2%で、前年度と比較して営業収支比率は0.5ポイント、経常収支比率は1.6ポイントそれぞれ向上している。当年度の営業収支比率は、平成21年度の全国平均を上回っているが、逆に経常収支比率は全国平均を下回っている。

これは、企業努力等により営業収益はある程度確保されているが、一方で、営業外費用のほとんどを占める支払利息の割合が、全国の類似団体と比べて大きくなっており、企業債の借入が経営を圧迫していることを示している。



(5) 給水原価と供給単価

(単位：円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	21年度 全国平均
水道事業	供給単価 A	167.01	167.04	167.49	167.31	167.27	171.79
	給水原価 C + D + E = B	176.51	175.33	180.05	174.79	171.50	178.81
	資本費 C	100.82	106.23	110.70	107.01	104.91	—
	給与費 D	18.20	13.61	9.73	7.65	7.99	—
	その他の費用 E	57.49	55.49	59.62	60.13	58.60	—
	販売利益 A - B = F	-9.50	-8.29	-12.56	-7.48	-4.23	-7.02
鶴形簡易水道事業	供給単価 A	150.40	147.99	148.56	148.26	148.09	—
	給水原価 C + D + E = B	177.40	170.46	158.58	164.01	161.24	—
	資本費 C	100.88	101.53	96.75	100.72	100.03	—
	給与費 D	17.36	6.38	0.00	0.00	0.00	—
	その他の費用 E	59.16	62.55	61.83	63.29	61.21	—
	販売利益 A - B = F	-27.00	-22.47	-10.02	-15.75	-13.15	—

(注) 消費税抜き、各項目とも有収水量1m<sup>3</sup>当たりの数値である。

給水原価は特別損失を含んでいない。資本費は(減価償却費+支払利息)÷有収水量。

水道事業の供給単価は167.27円、給水原価は171.50円で、差し引き販売利益は4.23円のマイナスとなっているが、前年度に比較して、この「逆ざや」の幅が3.25円縮小している。これは、修繕費及び支払利息の減に伴い、給水原価が下がったことが主な要因である。

鶴形簡易水道事業の供給単価は148.09円、給水原価は161.24円で、差し引き販売利益は13.15円のマイナスとなっており、前年度に比較して「逆ざや」の幅が2.6円縮小している。これは、費用が減少したことで、給水原価が下がったことが主な要因である。

水道事業の供給単価と給水原価の推移

